

活動実績報告書

平成27年12月16日

登録番号 2015752

氏名 坂本 康宏

1. 活動状況

平成24年4月～平成27年3月

① 活動の概要

愛媛県西予市における森林の集約化、提案型森林施業、担い手確保の取組み。

② 当該業務を挙げた理由

愛媛県西予市は、原木価格の低下のなか、西予市森林組合が平成24年に5期連続赤字を計上し、大量の離職者がでる等の障害が発生し、早急に地域林業の抜本的改革が必要とされた。これらの問題に対し行った林業普及指導員としての活動が、森林総合監理士としての活動と関連があると考えられるので選定した。

③ 当該業務における、あなたの立場と役割

林業普及指導員として、平成24年度～平成26年度までの3年間、職務に従事していた。

④ 当該業務を進める上での課題及び問題点

(1) 西予市林業活性化センターの停滞

平成23年度に森林の集約化を目的として、西予市役所内に西予市林業活性化センターが組織されたが、平成23年の集約化実績はゼロであった。

(2) 森林組合のコスト管理

森林組合は、コスト管理に課題持ち、困難な経営状況に陥っていた。

(3) 担い手の減少

経営問題から、離職者が相次ぎ、地域全体として深刻な森林整備の担い手不足に陥った。

⑤ 活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

(1) 西予市林業活性化センターへの指導

- ア. 業務分担の改善—センターと林業事業体の業務の棲み分けを明確に行った。
- イ. 森林登録—契約の前段階に森林登録を行い、個人情報保護法の制約をクリアにした。
- ウ. 不同意森林についての工夫
市役所が予め不同意について確認していることを利用し、事務の簡素化を行った。

(2) 森林組合の経営改善への指導

- ア. 中期経営計画の策定指導—中期経営計画の策定に積極的に関与した。
- イ. 提案型森林施業の完全実施—提案型森林施業の完全実施を指導した。
- ウ. 入札による森林施業の実施—入札による森林整備の実施の試行を行った。

(3) 担い手不足への指導

- ア. 域外業者のコーディネイト—域外業者への声かけにより、担い手の連携をサポート。
- イ. 能力を正當に評価する事業体へ—人事評価への指導。

⑥ 活動による成果で残された課題と今後の改善方策

- (1) 西予市の森林—西予市の森林全体を考えた森林整備と、それを実行できる担い手の育成。
- (2) 担い手の根本的解決—ふやす・育てる・呼んでくるにより、担い手の根本解決。
- (3) 川下対策—国産材—大消費地でもある本地域に原木を供給できる体制を構築。

2. 研修の受講状況

研修名 _____ 平成 年 月
(実施主体)

研修名 _____ 平成 年 月
(実施主体)

研修名 _____ 平成 年 月
(実施主体)

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

雑誌投稿・著書等

分類	発表題名	発刊年月	掲載誌名(出版社)
雑誌投稿	普及員によるプランナー支援方式による合意形成	平成22年3月	現代林業 (全国林業改良普及協会)
雑誌投稿	なぜ旧市町村単位の団地設定(森林施業計画)なのか	平成22年4月	現代林業 (全国林業改良普及協会)
著書	林業改良普及双書 NO.166 普及パワーの施業集約化	平成23年2月	全国林業改良普及協会
著書	林業改良普及双書 NO.177 協議会・センター方式による所有者取りまとめ—森林経営計画作成に向けて	平成26年1月	全国林業改良普及協会

発表・講演等

分類	発表題名	発表年月	発表場所
講演	愛媛県における施業集約化の取組	平成26・27年 6月	林野庁森林技術総合研修所 (森林整備事業研修)
講演	愛媛県における林業活性化の現場から(地元住民・事業者等への対応)	平成26年2月	林野庁森林技術総合研修所 (地域対応力向上研修)

その他

平成23年度～平成25年度 日本型フォレスター研修運営委員会委員
(林野庁所管)

平成27年度 所有者の所在の把握が難しい土地への対応方策に関する検討会委員
(国土交通省所管)